

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ひぬまきっず			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 2月 20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 2月 20日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門的支援を理学療法士、言語聴覚士が実施している。	・言語指導の希望も多い為、可能な限り利用ができるよう、理学療法士や言語聴覚士と曜日の固定がないよう、柔軟に日程調整を行っている。 ・個別療育や集団療育の内容が共有できるよう記録やカンファレンスを実施している。	・希望に応えられるよう、言語聴覚士や理学療法士の実施回数を増やせるよう調整に努める。
2	・フリー参観を設けており、いつでも保護者が療育の様子を見られる体制を整えている。	・フリー参観時には職員が療育の説明をしながら、家庭での困りごとなどにアドバイス等を行っている	・現在の状況を維持しながらも、面談にも柔軟に対応していく
3	・環境や卒園後の体制の整備ができている。	・利用児の特性を考慮した人員・設備配置をしている。 ・相談支援や放課後等デイサービス、成人事業所など卒園後の将来的ニーズに対応できるよう法人全体で体制整備に努めている。	・現在の状況を維持していく。 ・卒園後にフォローについて、受け皿の拡大にも努めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・面談の機会が少ない。	・日々の生活状況の報告の際、保護者とのコミュニケーションを取っていた。 ・療育の現場に人員を優先していた。	・定期的に面談日を設け、面談の機会を設定していく。 ・面談の申し入れがあった際には、面談の実施時期や日程調整について柔軟に対応していく。
2	・保護者同士の交流の機会が少ない。	・親子合同イベントを開催しているも、保護者同士の交流の機会がまだ少ないのが現状である。	・ご希望される方もおられるので、交流会を設定していく。 ・親子合同イベントの際に、保護者同士の交流の機会や時間を設けていく。
3			